



700-0985  
岡山市厚生町 3-1-15  
岡山商工会議所ビル2F  
(社)岡山ビルメンテナンス協会  
青年部会  
TEL: 086-225-8660  
Eメール: okbm1@lime.ocn.ne.jp



青年部HP: <http://obmjr.web.infoseek.co.jp/>  
(全国大会関連のページアップしています)

# 岡山青年部だより

第23号 青年部全国大会開催特集

編集・発行人: 社団法人岡山ビルメンテナンス協会青年部会広報委員会

平成17年12月1日発行(通算23号)

## 青年部全国大会 が開催されました

去る平成17年10月19日、ホテルグランヴィア岡山において「第10回ビルメンテナンス青年部全国大会in岡山」が開催されました。

会場には狩野伸彌全国協会会長、山邦彦中国地区本部副部長をはじめ多くの来賓、全国各地の青年部会員約180名が参集し盛大に行われました。大会は高戸賢一実行委員長の開会宣言で始まり、全員参加のグループ討論会はテーマ毎に指定されたテーブルに着き、各地区青年部会長がそれぞれのテーブル議長を務め、見知らぬ他地区の青年部メンバー同士が10名前後で話し合うスタイルで意見交換が行われました。

各地区青年部毎に特性、活動内容など大きく違っているようで、会場のあちこちで笑い声や嘆息が聞こえる楽しい討論会となりました。

そして、その後の公開部会長会議では日本各地の青年部活動状況報告と併せて、各テーブルでまとめられた180名の意見が各青年部会長から発表され、小川大会長のサミット宣言「本日こうして集えたこと、そして話し合えたことが糧となり、業界発展の材料になっていけばと思っています。我々、若い力が第一線において活躍していくことをここに宣言いたします。」で大会は幕を閉じました。

引き続き行われた交流会では各協賛企業様も加わり、テーブル形式で行われましたが、宴が進むにつれ、テーブル間を行き交う方が多く、美味しい料理も手付かずのままのものが多く見受けられました。小川部会長と「黒多びす楽団」の生演奏あり、次回開催地と決定した熊本青年部さんの「おもちゃん」の余興あり、鷺羽山ハイランド・サンパチムのサンバありと、充分に交流していただいたところで、広島青年部さんによる中締めとなりました。

翌日は、エクスカッションとして、「備前焼体験ツアー」(参加者72名)「交流ゴルフコンペ」(参加者28名)が行われ、決して芸術的とは言えない備前焼作品も多々見受けられました。

参加者全員、天候に恵まれた「晴れの国岡山」を満喫されたことと思います。全国よりお集まりいただきました参加者の皆様には、一部不手際がありましたこととお詫び申し上げます。また二日間大会の運営に関わった岡山青年部のみなさん、本当にお疲れさまでした。(藤原)

写真下 高戸実行委員長開会宣言  
写真左 公開部会長会議の1コマ



### 第10回ビルメンテナンス青年部 全国大会in岡山を終えて

今回、記念すべき第10回ということ、青年部の意義を中心に様々な議論が交わされました。

各県の部会長は青年部に対する関心が高く、様々な視点から青年部についての発表がありました。個人名での登録を採用している青年部も多く、そういった部会では部会活動に対してかなり積極的なのようです。また、定期的なボランティア活動や広域での交流会の開催等、岡山の青年部にとっても目新しい活動報告や県によっては、親会のサポートを務めることが主な活動だったが、今回の大会により独自の活動をプラスしていきたいとの、企画側としては喜ばしいご意見もいただいています。



今回初めて全国大会に参加された山口県青年部さんから全国大会終了後、メールをいただきましたので、ご紹介します。

「FRONTIERサミット ～来られえ聴かれえ喋られえ」岡山青年部の皆さん『青年部全国大会』本当にお疲れ様でした。そして大変お世話になりました。

我ら山口青年部は、今年度発足したこともあり全国大会への参加は初めてでありましたが、パワー溢れる大会に部会員一同、感激し、感動をおぼえました。

このような盛大な全国大会を開催されるにあたり、岡山青年部の皆様のご苦勞は並々ならぬものであったと思います。

全員参加型の一大意見交換会では、全国の志ある方々と有意義な時間を過ごさせていただき、情報共有やネットワークの意義を再認識しました。

ビルメン業界の今後を背負っていく若い力と創造を、この大会を通し経験できました。年1度の大会で終わらせることなく、これからの仕事に役立てたいと思っております。

ありがとうございました。

(社)山口県ビルメンテナンス協会  
青年部一同

近年、業界としては指定管理者制度や価格の低迷等様々な問題に直面し、すでに転換期を迎えている状況にありながら、今回、敢えて「青年部」を題材にしたのは、この有益なネットワークをもっと活用すべきではないかと考えたことで、企画の指針のひとつでもありました。もちろん、各企業のノウハウは、表に出るべきものではないかも知れませんが、青年部も含めた社団組織の活動に参加するのは組織の一員である前に一企業に所属します。しかし、このような組織は本来、情報交換や資質の向上を目的としているのもまた事実です。一見、相反するような状況にありながら、それでも、場合によっては業界が抱える問題は、業界が一丸となるべきステージも往々にして存在します。もちろん、今回の大会は青年部について考えるきっかけであり、全国共通の青年部の目的や決まった活動指針が、ひとつの結論となるような大それたことが目的ではありません。ただ、少なくとも青年部に参加するということは何らかの形で業界に影響を与えることができる可能性を秘めている組織のひとつに所属していることは間違いありません。

最後にになりましたが、全国大会の開催にあたりご多忙にもかかわらずご参加いただいた皆様、方々で私の不備を補っていただいたスタッフの皆様、深く感謝を申し上げますと同時に大会終了後も数々の失礼があったこととお詫び申し上げます。

岡山ビルメンテナンス協会  
青年部部会長 小川 亮人

全国大会を振り返って  
10月19日の部会長による昼食会から始まり、翌日のエクスカッションまで多くの方にご参加頂き、各場面に皆様に感じてもらえる物、考えてもらえる物、発言の場面をご用意できた事、そしてその結果に対しての皆様のお笑顔をねがいの言葉、厳しい指摘等数多く頂き、メンバー一同無事開催できた喜びと皆様のご協力に感謝に堪えません。

大会を振り返り、テーマにある通りの考え、そして喋る場が本当に提供できたのであろうか、と考えることもありますが、当日快く発表やコーディネートをお引き受けくださった皆様にご協力を頂きながら総括ができた事、本当に感謝致しております。

今大会、メンバーが知恵を出し合い一つずつ議論をし、確認をし、工夫をし、全工程終了まで手作りの大会でした。

この経験は私達にとって今後の青年部活動を行う上で貴重な財産となりました。

充分、おもてなしの気持ちで運営してまいりましたが、至らぬ点があったこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

そして皆様、本当にありがとうございました。

全国大会実行委員長  
高戸 賢一

#### お詫びと訂正

全国大会の際に配布したパンフレットに誤りがありました。兵庫ビルメンテナンス協会 青年部様の住所が、旧住所になっていましたが、今年2月に移転されています。

正しくは  
〒650-0021 神戸市中央区1丁目9-1  
センタープラザビル10階 1001号です。  
兵庫協会関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。(小川・高戸)

青年部 1年間の主な行事記録  
(ホームページトピックより抜粋)

平成16年10月15日

島根県松江市くにびきメッセにおいて、第8回ビルクリーニング技能競技中国大会が開催され、岡山県代表として、吉田法恵選手(株)ジェイアル西日本岡山メンテック)、中塚康夫選手(太平ビルサービス(株)岡山支店)、能登原秀和選手(アトラティブ大永(株))の3選手が出場されました。

結果、吉田選手が準優勝、中塚選手、能登原選手も素晴らしいパフォーマンスを披露され、青年部親睦旅行を兼ねて駆けつけた岡山応援団も大満足の1日でした。

平成16年10月19日

第9回ビルメンテナンス青年部全国大会が徳島県徳島プリンスホテルで開催され、当岡山青年部からも小川会長以下9名と岡野事務局長が参加しました。

超大型台風23号接近のため、翌日に予定されていたエクスカッションは中止となりましたが、式典・研修会・交流会は予定通り執り行われ、四国の皆様の才知溢れる運営と心のこもったおもてなしに参加者全員大満足の中で幕を閉じました。

また当日の全国部会長会議において17年度の全国大会を岡山青年部が主催することが正式に承認されました。

当日、大会終了後、広島青年部との交流会が行われました。楽しい時間を過ごしながら広島青年部の方ひとりひとりの魅力に驚かされた1日でした。

平成17年2月14日

岡山商工会議所405号室において、青年部主催による研修会が開催されました。

研修テーマは「知って得するメンテナンスの知恵袋」・「カーペット素材の見分け方とメンテナンスポイント」で青年部内外から60名余りの参加者があり研修会は盛況でした。

全面協力いただきました(株)リンレイ様、お世話になり、ありがとうございました。

平成17年2月14日

岡山商工会議所において、「第10回ビルメンテナンス青年部全国大会」に関する全体会議が開催されました。

会議は、プロジェクト委員会での成果を具体的な企画に組み立てた執行部の案に対するご意見をいただく形で進行しましたが、企画の軸である、「全国の参加者全員が会議に参加するような全国青年部全体会議を岡山大会のメインとする」という案については大筋でご承認をいただきました。

平成17年4月7日

アークホテル岡山において青年部全体会議が開催され、「第10回青年部全国大会」の内容が決定しました。

会議終了後は懇親会が持たれ、今後展開される全国大会に向けての団結がはかられました。

平成17年6月22日

ピュアリティーまきびにおいて部会員19社出席のもと、通常総会が開催されました。

- 16年度事業報告ならびに収支決算
- 17年度事業計画案ならびに収支予算案ともに満場一致で承認され、
- 任期満了に伴う役員改選については満場一致で小川部会長の留任が決定し、三役・執行部とも留任で第2期小川体制がスタートしました。

17年度の主な事業計画は・・・

- 1 青年部全国大会の開催(10月19、20日)(ホテルグランヴィア岡山)
- 2 青年部全国大会パンフレットの作成、配布
- 3 青年部全国大会報告書の作成、配布
- 4 青年部だより23号の発行
- 5 研修会の開催
- 6 岡山高等技術専門学校 清掃講師派遣
- 7 新年互礼会開催
- 8 職業訓練指導員(48時間)講習受講支援
- 9 青年部会ホームページの充実を図りアクセス数の増加をめざす等となっています。

平成17年8月3日

山口県小郡町(現 山口市)において山口・広島・岡山3県の青年部交流会が開催され、小川部会長、高戸副部会長、麻田副部会長が出席しました。16時から山口・広島・岡山青年部合同会議で、その後懇親会でした。

活発に話し合わせ、情報を交換し、とても有意義な時間を過ごさせていただくことができました。山口青年部の皆様、広島青年部の皆様、今回は本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。



中山さんを岡山青年部にお迎えできて本当によかったと思います。彼のエネルギーが全国大会準備活動の推進力となりました。大会の準備について執筆願いました。

全国大会プロジェクト委員会に参加して

今年より岡山ビルメンテナンス協会青年部に加入し、総務委員会に配置され、さらに第10回全国ビルメンテナンス青年部全国大会in岡山の開催にあたり、プロジェクト委員会に配置されました。青年部のために何か一つでもしようという思いで参加しました。プロジェクト委員会の役割が何か知らないまま初めて委員会に出席して、その内容は、

- ・参加者宿泊人数の取りまとめ及び宿泊手配
- ・参加者に対する手土産
- ・エクスカッション(ゴルフ)の手配
- ・エクスカッション(観光)の手配

と色々あり、この瞬間に全国大会の大変さを知りました。とはいえ10月19日、20日までに私の出来ることを一つでもと思い手土産(備前焼の湯呑み)170名分の手配をし、もう一つはエクスカッションの観光の手配を引き受け、備前焼の体験ツアーを提案しました。

これまで、委員会及び全体会議等で様々な審議を重ねて思いましたが、手土産にしてもエクスカッションにしても、青年部全体で力を合わせないと良い物が出来ないと感じました。全国大会を終えて振り返ってみると、自分の役割は何とかが果たせましたし、全国大会も素晴らしい大会であったと思います。会社での仕事の合間を縫ってプロジェクト委員会の一員として活動できた事は、私にとって良い思い出が出来、また良い勉強になりました。

(有)西大寺環境施設管理センター  
中山 稔之

写真 ↑ ↑  
上から長池徳島部会長  
個性派の仮屋鹿児島副部会長  
来年開催の光永熊本部会長



写真 →  
演奏中の黒いびす楽団(右上)  
懇親会の1コマ(左上)  
翌日懇親旅行中の山口青年部さん(右下)  
懇親会中締めで登壇された広島青年部さん(左下)



大鷲さんは20代前半の美しい女性です。最近青年部デビューを果たしたばかり。若い女性からみた岡山青年部、という視点で執筆願いました。ちなみにビールを注ぐと嫌な顔をせず受けてくれる・・・男前な性格だったりします。

青年部イベントに初めて参加して

今回私は青年部全国大会に初めて参加しましたが、岡山青年部会自体にも、初めての参加でした。少し前まで、そうゆう団体があることすら、知りませんでした。

岡山ビルメン協会青年部会というところ・・・普段、うちの会社からは、山内部長が出席していたみたいですが。みたいというのが、部長はいつも忙しく飛び回っていて、彼の行き先はあまりにたくさんで、よく知らないからです。

私は業務社員です。普段はワンボックスカーで、Aのお客様からBのお客様へと移動し、きれいにするのが私の仕事です。

限られた時間内で完了すること、安全に終了すること、チームワークに心がけること、お掃除してもらってよかったとお客に喜んでもらえるマナーと技術を提供すること、それが社会人としての私の仕事に対する関心の全てでした。

ある日部長から、「明日、青年部にいくからついておいで」と言われました。

青年部? 訳もわからないまま会場のホテルへと出かけていったのです。

その日が目前に迫った「ビルメンテナンス青年部全国大会」に向けての決起集会との日でした。料理が並び、お酒が出され、カラオケも用意されていました。

かわるがわる誰かがステージに立ちました(私も誘われましたが恥ずかしくてお断りました)。みなさん偉い方だと思いました。

「若い女の子の参加は珍しい、これからどんどん来なさい」と多くの方に言っていただきましたが、直前まで現場で作業して駆けつけたため作業着のまま参加して座っている私は、私なんかここにいていいのかなという思いにずっと縛られていたのです。会場の照明と交わされる名刺と、煙草の煙の中で、楽しそうなスーツ姿の人たちを少し心細いような気持ちで別世界の風景のようにただ見ていた、それが私の最初の青年部体験だったわけです。

みなさん本当に楽しそうでした。でも数日たって、懇親会の前に行なわれた会議での、真剣な表情や熱のこもった発言のほうに、私に強い印象となって残っていることに気づいたのでした。あんなに必死になって、何を作ろうとしているのか。それは清掃現場における仲間の姿に似ていました。すると、懇親会で楽しそうだったことも、楽しむことに、みんなが一生懸命とりにくんでいたのではないかと、思うようになったのでした。

そして参加した青年部全国大会。そこでは、さらに多くの企業を越え、地域を越えて語り合うこと・楽しむことに一生懸命とりにくんでいる方たちを見せていただくことになりました。

私は業務社員です。お客に喜んでいただくマナーと技術で作業することが私の仕事です。そのことに私の全部を投じて努力しています。そして、そのことだけに私が頑張るのは、私が守られているからこそではないかと、今回全国大会に参加したことで私は初めてそんなことを思ったのでした。

「青年部に行ついで」「全国大会に参加しなさい」、会社には理由があってそうしたことだと思います。それは、私に投げかけられた問題であり、私はまだ答えを出し切れていません。

参加した意義を見出し活かしていくことが今後の私の課題になることでしょう。

でも、たくさんの方が、様々な場所で、自分のありったけの力で頑張っていることは知ることができました。みんな、自分とみんなを幸せにするために頑張っているのだと思いました。

私も私と私の関わる人の幸せのために今後ますます頑張りたいと思います。

(株)サンヨービルマネージメント 大鷲 洋美